

# 1. 評価報告概要表

作成日 平成21年1月25日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1172400580
法人名	有限会社 大むさし
事業所名	グループホーム越生町やすらぎ
所在地	〒350-0416 埼玉県入間郡越生町越生969-1 (電話) 049-292-7110

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成21年1月21日

## 【情報提供票より】(平成20年12月5日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年8月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 4人, 非常勤 6人, 常勤換算 6.7人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り
	2階建ての1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	59,000 円	その他の経費(月額)	26,000円 + 実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 200,000円 )	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日あたり 円			

### (4) 利用者の概要(12月5日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名		
要介護3	1 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 78 歳	最低	65 歳	最高	93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	市川病院
---------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、平成15年8月1日に開設し、2階建ての1階部分に1ユニットで運営しているグループホームである。近くにはお寺や幼稚園もあり自然に囲まれた環境に位置し、散歩のコースにもなっている。食事については献立を職員と共に立て、食材購入から調理まで、職員と利用者で出来ることを分担して自主的に関わり、家庭的な雰囲気の中で和やかに食事作りが行われている。職員は利用者に温かく接し、理念の実践を意識しながら、常にサービスの質の向上を目指してケアに取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では、事業所独自の理念の作成・評価の意義の理解・職員を育てる取り組み・同業者との交流などが改善課題とされた。理念については、全員の意見をまとめ、職員ミーティングで作成し、玄関に掲示している。また、評価の意義を理解し、職員各自が自己評価に取り組んでいる。その他、グループホーム協議会の研修参加などには参加するなど、それぞれの課題についてミーティングで検討し、改善への努力が続けられている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の評価では、各自で自己評価したうえで職員全員が作成に携わり、問題を明らかにしながら取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は3か月に1回行われ、役場の健康福祉課、区長、民生委員、家族代表、幼稚園園長などの出席がある。会議では、ホームの活動報告や意見交換が行われ、意識の向上が図られており、記録も残されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族会や面会時に意見を聞くようにしている。また、毎月の金銭管理の報告時に、ホーム便りや個人の情報を担当者が記入し郵送している。家族会の意見やアンケートの結果などについてはホームの運営に反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入している。地域とのつながりを大切に、夏祭り、夕涼み会、ボーリング大会、そばうち会などの行事に積極的に参加し、地域の人との交流が図られている。</p>

## 2. 評価報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域に根づき安心・安全な環境で笑顔のある1日を過ごす。できることは自分で出来ないことは仲間で」を理念として掲げて、毎日暮らしの中で実践していくように努力している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員ミーティングで意見を出し合い、12月に理念が完成したところである。日々の生活の中で利用者の自主的な活動を尊重し、気持ちを大切にするケアが行われている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入している。地域とのつながりを大切にしており、夏祭り、夕涼み会、ボウリング大会、そばうち会などの行事に積極的に参加し、地域住民との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義と必要性を学び、前回の外部評価の結果を報告するとともに、活用しようと前向きに取り組んでいる。また、今回の評価では各自で自己評価し、全体で評価の作成に携わることで問題を明らかにしている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は3か月に1回、町の健康福祉課、区長、民生委員、幼稚園園長、家族代表などの参加を得て開催されている。会議では、ホームの活動報告や意見交換が行われ、意識の向上が図られており記録も残されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	諸制度の情報提供を受けたり、必要に応じて相談し連携を図りながらサービスの向上に役立てるようにしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月の金銭管理の報告を送付する際に、ホーム便りや個人の情報を担当者が記入し、個々に合わせた報告をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や面会時に話を聞く機会を設けて意見を聞いたり、アンケートの結果などを受けて意見をホームの運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の退職時には、利用者にも退職について挨拶や報告をしている。また、他の職員に引き継ぎを行い、利用者には不安を抱かせないようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修に関して案内するとともに声掛けしているが、参加者は少ない。交通費や受講料については事業所の負担とし、勤務時間の調整をしたうえで参加している。なお、研修参加後はミーティングで報告している。		具体的な研修計画を作成して職員に開示し、出来る限り参加しやすい配慮が望まれる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の研修会などに参加し、情報交換しながらサービスの質の向上に役立てている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に家族や本人から情報収集し、可能であれば見学も受け入れ、思いや意向を把握したうえで対応するなど、段階を踏むことで利用者が徐々に馴染めるように工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者に出来ることはやってもらったり、利用者と一緒に献立を立て調理をすることにより本人から学んだり、日々の生活の中で支えあう関係を築いている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>生活歴や日々のかかわりの中で一人ひとりの意向を把握し、常に本人の思いを意識しながら希望にそえるよう心がけている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族や利用者から話を聞いた内容と居室担当者からの情報を基に具体的な介護計画が作成されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>利用者の心身の状態に変化があった場合は、ミーティングなどにより意見交換を行い、随時見直しを行って新たな介護計画を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	接骨医・歯科医の受診支援や買い物、誕生会の外食など、本人や家族の状況を把握し、その時々に応じた支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣の協力医療機関に月2回定期的に受診し、具合の悪い時はいつでも相談することができる。なお、本人や家族の希望する医療機関でも受診可能である。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在まで重度化や終末期などの事例はなく、方針の共有はない状況である。		今後、重度化してきた場合や終末期に対しての方針を明文化し、関係者全体で共有することが期待される。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人ファイルは鍵のかかる書庫で管理されている。また、利用者のプライバシーを損ねないように対応や言葉掛けに留意している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活のペースを尊重し、希望にそった日々を過ごしていけるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューについては、職員と共に希望を取り入れて立案している。食材の購入から調理まで職員と利用者で出来ることを分担し、自主的にかかわりながら家庭的な雰囲気の中で和やかな食事作りがされている。また、利用者と職員と一緒に食事し、片付けが行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の曜日や時間帯に決まりはなく、毎日入浴することが可能である。一人ひとりの希望やタイミングに合わせた支援により、楽しみながら入浴できている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の生活歴や力を活かした支援がされ、食材の買い物や調理など楽しみながら行っている。また、週1回のグランドゴルフや外出、散歩などの支援もされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の午前と午後の食材の買い物や旅行などに行くほか、外食や地域での催し物など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	開設以来、日中は玄関の鍵をかけておらず、職員の見守り支援のもと利用者は自由に出入りしている。また、地域には運営推進会議などで協力を求め、理解と情報を得ている。なお、家族には施錠しないことへの理解と同意を得ている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	夜間を想定した訓練も含め、年3回避難訓練が行われている。消火器の使用方法や避難経路など、消防署の協力を得て訓練をしており、近隣の幼稚園との連携を取り始めたところである。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別管理のチェック票で水分・食事摂取量、排泄について記載し、情報を把握しながら支援している。栄養バランスやカロリー計算は職員により行われ、1日を通じて確保できるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間はキッチンに隣接しており、大きなテーブルで食事をすることが出来る。また、大き目のソファが設置され、ゆったりと居心地よく過ごせるように配慮されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的なものは事業所で準備しているが、本人や家族の意向で使い慣れた家具や仏壇などが置かれ、居心地の良い環境づくりに配慮している。		